

北海道厚岸町大黒島で発見した  
*Cyclopyxis* 属の有殻アメーバの1未記載種について  
明石典之, 三部光夫, 島野智之 (宮城教育大・EEC)

A species of genus *Cyclopyxis* (testate amoeba)  
collected from Daikoku island of Akkeshi town in Hokkaido

Noriyuki AKEISHI, Mitsuo SANBE and Satoshi SHIMANO  
(EEC, Miyagi University of Education)

SUMMARY

A species of genus *Cyclopyxis* (Testate amoeba) was collected from soil of coastal vegetation (2005-X-17, N 42° 57' 21", E 144° 52' 06") at Daikoku Island of Akkeshi town in Hokkaido, Japan. These specimens, approximately 50 individuals, were studied by light microscopy and scanning electron microscopy. They belonged to *Cyclopyxis* (Deflandre, 1929) according to some morphological characters. Because these specimens were very small, they were compared with very small species of *Cyclopyxis* and of other genera. The specimens did not fit any described species.

**[目的]** 北海道東南部, 厚岸町の約4km の沖合に位置する大黒島(無人島)において, 原生生物の中でも有殻アメーバに焦点を当てて生息種の調査を行った。このうち, 海岸植生の土壌から体長が非常に小さい *Cyclopyxis* 属と思われる1種を見出し, この種の形態的特徴について精査を行い既知の種との比較を行った。

**[材料と方法]** 大黒島(N 42° 57' 21", E 144° 52' 06")の海岸植生より2005年10月17日土壌を採取した。

形態的特徴の観察は, 光学顕微鏡及び, 走査型電子顕微鏡(SEM)を用いた。土壌試料に, ニリン酸ナトリウムを添加したリン酸緩衝液で攪拌・洗浄し, 有殻アメーバの分離を行った(Aoki, 2003)。顕鏡下でソーティングしたアメーバは, 光学顕微鏡観察を行うと共に, エタノールによって脱水した後, 金コーティングし走査型電子顕微鏡で観察した。

**[結果と考察]** 今回見出した50個体程度の標本は, 1)

葉状仮足(lobose pseudopodia)を持つことから Arcellinida, 2) 殻の表面に鉱物の粒子が付着していることから Diffflugina, 3) 開口部(pseudostome)の位置が殻の中心にあることから Trigonopyxidae, 4) 殻, 開口部ともに円形で開口部が陥入しているため, *Cyclopyxis* 属 (Deflandre, 1929)であると同定した。本種の特徴は, 開口部が陥入している。開口部側の殻の表面は滑らかな有機物質で, 背面部側の殻の表面は鉱物の粒子が付着している。殻の直径に対して開口部, 殻の幅が小さい。殻の直径が小さい。といったものがある。これらの特徴を近似種と比較したところ既知の種に該当するものがなく, 本種は未記載種であると考えられた。現在, この *Cyclopyxis* sp. に関して Single-cell PCR を用いて SSU rRNA 遺伝子の解析を進めている。

**[文献]**

1) Deflandre, G. (1929) Arch. Protistenk. 67:327-375.